

社団法人 都城青年会議所  
2012年度 理事長所信

第49代理事長候補者  
畑中 伸志

2012年度 スローガン  
「敢為邁往」  
夢と希望が溢れるまちのために  
～覇気あるJAYCEEの新たなる挑戦～

**【新たなる挑戦】**

2007年より社団法人都城青年会議所は公益社団法人制度改革について調査、研究を行い、多くの時間と様々な議論を重ねてまいりました。そして、2011年現在の青年会議所に則した定款、諸規程、運営の見直しを行い、時代にあった枠組の中でスピード感をもって組織改革を進めてまいりました。いよいよ本年、その改革に挑むべく公益社団法人としての新たなスタートとなります。この公益社団法人制度改革は、“まちづくり”を担う私たちが、将来にわたり公益的な運動を行い青年会議所運動の発展を進めると共に、JC活動の在り方についてもしっかりと検証し、まちに対し公益的な青年会議所運動を実施していかなければなりません。「公益」＝「世の中の役に立つ」を理解することがまず大切であり、今までの取組みが決して変わるわけではなく、青年会議所運動とJC活動をより理解し全メンバー一丸となり“まちづくり”と“ひとづくり”に邁進しなければなりません。このまちにとって、青年会議所運動が絶対に必要であるためには私たちの運動の価値を更に上げ、魅力あるものにしていかなければなりません。そのためには、我々は創始の精神を胸に今一度立ち上がり、希望ある未来を語り合いながら、このまちの未来へ向けて「敢為邁往」していくことが我々に与えられた使命であると強く感じます。若者が元気な地域には、必ずそこに活力が生まれます。どんな困難が立ちまわろうとも、どんな苦しいことがあろうとも、私たちには可能性という大きな希望があります。だからこそ今、若い力を集結し、互いに切磋琢磨し修練を積重ね、地域社会へ対して奉仕し、その中から生まれる友情を確かなものに育めるよう日々活動を行い、各事業を通じて公益社団法人都城青年会議所として、私たちは明るく元気に青年会議所運動に邁進し、地域の皆さんに元気を発信していこうではありませんか。そして、覇気あるJAYCEEとして責任と自覚をもって精一杯仲間たちと「明るい豊かなまちづくり」に向けて挑戦してまいりましょう。

**【未来の覇気ある人間力の育成】**

夢と希望に溢れる覇気あるJAYCEE育成事業

日本は元来素晴らしい文化と歴史、伝統を持っています。また、勤勉さの上のデリケートな感性と個性があります。感性と個性を活かし日本人が大切に育んできた、和の精神を考え「真の日本人の心」を持ったリーダーを育てることが大切だと考えます。今まさに、日本人の心の原点である和の心が必要とされ、そして、私たち青年が、目を覚まし立ち上がらなければならない時が来ていると感じます。新しい時代の理想の社会は、かつて先人たちが築き上げてきたように、私たち青年が築いていかねばなりません。そのためにも、この地域を担っているのはメンバー一人ひとりであるという自覚と誇りを持ち、しっかりと地域に対して実践できるリーダーシップを習得しなければなりません。これからの地域の先導者は他のだれでもない。自分たちであるという責任と自覚のもと、お互い切磋琢磨し人間として、夢と希望に溢れる覇気あるリーダーとして自己成長・改革する必要があると考えます。そのためには一人でも多くのJAYCEEの育成をしていくことが必要不可欠であると考えます。

#### 心豊かで頼もしいリーダー育成への挑戦

心豊かな人々によって支えられたまちは、明るさと心地よさに満ち溢れそこに住む人々は人の心を大切にしながらよりよい地域を構築するべく共存していくことができます。人間性豊かで頼もしいリーダーがこの地域に存在することで必ずや活気に満ちた明るい地域になると信じます。しかし、現在の豊かさにマヒしてしまい恵まれた現代に足りなくなってしまった「ありがたい」の感謝の心と「思いやり」という利他の精神。問題を意識せず人間らしさの重要性を忘れてしまいがちな現代社会において心豊かなリーダーを育成するためには、地域のすべてを視野に入れた人間力の育成をすることが必要であると考えます。心の豊かなリーダーには、思いやり溢れる心を持つ人間として人間らしく生きるということを真剣に問い直し、人間性の豊かな生き方をめざす姿勢を持ち続けるべきであると感じます。今に感謝するとともにその恩恵に応じた貢献を自分の責任において果たすために自らを高める努力を怠ってはなりません。未来の「明るい豊かな社会」実現のために、豊かな心をめざす姿勢を考え、人間としての強い覚悟と物事に対する謙虚な心を養い人間性豊かで頼もしいリーダー育成をすることが必要であると考えます。

#### 経営者の資質向上を高める事業の実施

景気低迷による消費の減退が顕著に現れ、我々を取り巻く経営環境も数年前とは比較にならない程変化しており、また、長く続くデフレにより、安ければ売れるといった簡単な市場でもなくなってきました。昨今、企業が引き起こす様々な社会問題などは理念なき経営とも言われております。また、理念があってもそれを使命として追求していなかったケースもあります。優れた経営理念を掲げていても活かさなければ経営者の考える目的、ビジョンには何時までたっても達成は不可能であると考えます。今、企業に

求められていることは明確なビジョンを掲げ率先して行動するリーダーの存在であると考えます。そして、経営者として常に経営力向上を目指し地域社会から必要とされる企業であり続けるために、必要とされるリーダーの資質向上と経営力向上に努めなければなりません。我々青年会議所が様々な活動を続けていけるのは、支えになる家庭があり、企業があり、それを応援してくれている地域があるからです。その支えとなる企業は利益があつてこそ成り立っています。それぞれの企業の利益が出ていなければ、個々のJC活動もやがては滞ることになるでしょう。そんな社会構造の変化や価値観の多様化する中、時代に合った商売や顧客ニーズを捉えるということは難しく、成長どころかその維持ですら大変困難になってきています。こんな時代だからこそ、経営資質やリーダーシップなど様々な要素を複合的に作用させ、青年経済人として求められる知識と実践的能力を習得し、更に発展させる力を身につけることが経営者として必要であると考えます。その先には、そこで働く人々が明るく、地域経済が豊かに循環する良い連鎖が起きるのだと信じます。経営者としての資質を強化することで、より良き企業の永続的な発展に繋がっていくと確信いたします。

#### 心豊かな青少年を育てる事業を実施

現在の青少年は物質的に豊かな社会の中で暮らしています。パソコンや携帯電話などの情報機器を積極的かつ能動的に操る姿があります。彼らの興味、関心、活動範囲は大きな広がりを見せています。その一方で、心配されるいくつかの課題もあるのではないのでしょうか。まず、青少年の心の豊かさを支える場、生み出す場が、少なくなっているように感じます。多種多様な家庭環境の中で、我が子だけに目がいく親と、親に相談しても否定的な答えしか返ってこないとして、相談しない子どもたちと、それぞれの孤立が進み子どもたちは家庭内でコミュニケーションが十分できなくなっているのではないのでしょうか。この現状を踏まえ、家庭や地域社会で様々な生活体験や自然体験の機会の中から、子どもたちの豊かな心やたくましさを育てることができる場を創出し、多くの愛情の中から素晴らしい感受性を養うことが重要であると考えます。子どもたちに夢を託す前に、精一杯の愛情を子どもたちに注ぎ、そして彼らが心豊かな大人になった時の、この地球、この国、このまちはきっと素晴らしいまちになっているはずです。

#### 挑戦する心を養うことのできる青少年育成事業

私たちの子どもの頃は、近所のお兄さんやお姉さんがいつも一緒に遊んでくれ、その中で強さとやさしさを学び、そして共に楽しみ、多くの憧れを抱いてきました。また同時に、自分の親や地域の大人から厳しさを学びんできました。その多くの経験が、自分たちもそうなりたいと思う欲求を芽生えさせ、行動を起こす原動力となり、自分の夢に強い覚悟をもって挑戦する第一歩となるのではないのでしょうか。何かに憧れ、夢を抱き、希望に満ち溢れ、挑戦する勇気が未来を担う青少年に大きな自信を与えることができる

と感じます。また、新たな目標に挑戦し、困難に打ち勝ちそれを達成するための強い勇氣と、あきらめない強い心を養うことで、必ず自分の無限の可能性に気づくこともできると考えます。地域の宝である子どもたちの無限の可能性を引き出すことのできる挑戦する心を培っていく事業を推進してまいります。

### 【夢と希望が満ち溢れる地域力活性化運動】

広域連携実践による地域力活性化へ向けた事業の展開

地域経済は充実化をめざし、地域独自の情報を発信することにより「地域独立の時代」を迎えています。様々な変化に対応できるためには、この地域政策において、地域としての具体的なビジョンを明確に持ち、そのビジョンづくりのための情報収集能力を高め、地域の自立を果たすことが大切なポイントであると考えます。地域から発信できる地域特有の文化、芸能、伝統、知恵、食文化などあらゆるものが地域のアイデンティティを構成する素晴らしい材料であり、地域社会との相互交流こそが地域の基盤となり、夢と希望の満ち溢れるふるさとづくり運動へと繋がっていくと確信いたします。豊かな地域社会は行政が与えてくれるものでは決してありません。住民一人ひとりの手によって育むものだと考えます。地域活動に積極的に参加し自立した市民であるべきだと感じます。そのためにも、この地域で活動している様々な団体と連携をとり、行動力ある我々 J C がオピニオンリーダーとしての役割を発揮し、地域の活力の向上に繋げ意義ある活動を展開しなければなりません。このような組織と組織、活動と活動を結ぶことで、組織の個々の活動だけでは得られない力を、この地域に対してもたらすことができます。この重要な役割を、我々都城青年会議所が積極的に行い、地域の広域的な行動連携を計り地域の発展を担っていくべきだと考えます。

「新5ヵ年計画アクションプラン」運動指針策定への挑戦

「J C しかなかった時代から J C もある時代」へとと言われて久しい昨今ではありますが、確かに個々の事業を捉えて考えてみると、優れた活動をしている諸団体は数多くあります。しかし、自己の修練と社会への奉仕を目的に青年会議所運動を展開している我々は、様々なネットワークを活用し連携をしながら、可能性を模索しこの地域に対して具体的に提言、行動を興すことのできる団体でもあります。2008年度より、中長期に渡る L O M のビジョン並びに方向性として、広域交流拠点都市「都城」を目指し5ヵ年計画行動指針を掲げ運動を展開してまいりました。創立50周年を迎える今だからこそ、このまちの未来を見据えた新たな青年会議所運動指針策定し、これからの我々公益社団法人都城青年会議所の運動指針を明確にする必要があると考えます。そして、具現化へ向けた運動を展開すべくアクションプランを策定し、そのプランに向けてさらなる挑戦してまいります。

## 【公益社団法人に則した組織運営の強化】

我々のおこなう全ての例会、事業には必ず背景があり目的があります。今の社会情勢や取り巻く環境に対し、何のために何をすべきかが明確に示されています。そして、公益社団法人として新たなスタートをする我々は、強い気概を胸に公益性の高い、すなわち地域や市民にとって有益で、まちの発展に繋がる事業を展開していく必要があります。これまで以上に地域に根差した青年会議所運動を展開し、より責任のある団体として挑戦していかなければなりません。JCは所属しているだけでは貴重な費用と時間を無駄にするだけでなく、人生の糧になるような体験や経験を得ることに個人差が生まれるように感じます。たとえ事業に参加したとしても、ただ見て終わりでは全く意味がありません。それぞれの事業で体験したことを、自分なりに考え、理解し、それを自ら実践、活用することで初めて参画したことになるのです。さらに、自分たちが担当する事業のみを考えるのではなく、他の委員会の事業もしっかりとその主旨を理解することで、メンバーの参画意識は向上し高い組織力を得ることができると考えます。そのことにより、メンバー全員が各事業に誇りをもち、自信を持って市民にアピールすることでひとつの目標に向かって同じベクトルで進んでいく強固な組織が出来上がるのです。強い組織力があれば、どんな困難も乗り越えていけるでしょう。都城青年会議所の結束力を更に高めることで、地域への影響力はより大きくなり、「明るい豊かな社会」の実現へ向けて敢為邁往の精神で挑戦していくことが大切であると考えます。しっかりと組織化された団体は外部からの信用も得られます。これからも地域に根差した誇りある団体として強い信念を胸に更なる組織強化を行なっていきます。今一度メンバー全員が公益社団法人としての定款及び諸規程を把握し、コンプライアンスを遵守した組織運営に務め、価値ある組織、信頼される組織を、そして公益性と透明性の優れた組織の確立を目指していきましょう。青年会議所とは、「修練」「奉仕」「友情」の三信条からなる、青年の最大の学び舎であります。そこに在籍するメンバーとして、様々な運動の中から、それぞれのポジションで活動を行なっています。一年という限られた時間の中で、修練というステージで自分を磨き、奉仕という謙虚な心で己の力を最大限に発揮し地域に対して挑戦することができます。そして、そのプロセスから得られる一生の財産、友情を得ることができる素晴らしい組織であると確信いたします。

## 【組織力の強化並びに発信】

### 覇気あるJAYCEEの運動発信

現在、誰でも簡単にリアルな情報を必要な時に得ることができます。さまざまな情報が氾濫する中、青年会議所の情報発信の場として各種メディアというツールを有効かつ戦略的に活用する必要があります。また、青年会議所運動の情報発信力を高めることにより、多くの地域住民の皆様が青年会議所運動を身近なものに感じていただける新たな可能性があると考えます。より多くの皆様に青年会議所運動の理解を深めていただき、

我々の意図する想いをしっかりと発信することで青年会議所運動へ更なる理解が深まります。時代に即したツールと、さまざまなネットワークをフルに活用し効果的な青年会議所運動の発信を行なうことにより我々の青年会議所運動に参画意識向上が得られると考えます。

#### 組織の存在意義強化からなるブランディング化の推進

創立50周年を一年後に控え、私たちは更なる前進をしなければなりません。青年会議所に入会当初、皆さんはどういう気持ちで、あるいは想いで青年会議所の門を叩いたのでしょう。そして、今の気持ち、想いはどうでしょう。人それぞれ様々にあると思いますが、JAYCEEである我々は、企業人でありこのまちの地域住民です。今一度、自己を振り返り各々の想いを持って一つに集まり、メンバー全員でこの地域に貢献できる組織にしていきましょう。そのためには、組織の存在意義強化に努めるべくメンバー同志の繋がりを深め、語り合い、助け合いにより連携を強固なものにしなければなりません。また、この地域に対しても各事業に説得力とリアリティある青年会議所運動を展開し、組織のブランディング向上に取り組んでいかなければならないと感じます。

#### 覇気あるJAYCEEの資質向上と会員拡大

人口減少が現実のものとなり、マイナスの経済成長が避けられない時代になりました。今までの価値観が崩れていく時代だからこそ、「どのようにすればいいか」を考えるのではなく、地に足をしっかりとつけて「何をしなければならないのか」を真剣に考えることが必要です。人間の行動は全て意識に裏打ちされています。「こうするのだ」と自分が思っているだけで、そこに「行動」が伴わなければ何も実現されません。なぜやるのか、いつまでに、どうやるのか、計画が鮮明であればあるほど、成功の可能性は高まっていきます。「こうであればいいな」という理想を「こうするのだ」という信念にまで高め、心の炎を周りに伝播し、自らが真っ赤に燃え上がり「やれる」という確信を持って走れるまで、真剣に今なすべきことを考えてこそ、意識が行動に表れると考えています。また、勧誘という拡大ではなく、あくまでも私たちの運動に賛同しての会員拡大です。参加する青年が増えることは、青年会議所運動の推進そのものなのです。確かに経済不況下において会員数を拡大することは容易なことではありません。しかし、私たちが常に高い志を持って運動を展開していることが伝われば、それに共感する同世代の青年は数多くいると確信します。

#### 次世代の覇気あるJAYCEEの育成

青年会議所運動を展開していくためには、私たちの個々のメンバーが公共心やJAYCEEとしてのスキルを常に向上させ、自らの資質を高める取組みが不可欠です。次世代を育成するためには、アカデミー事業を通じて新入会員が企画、実践し知性と品格を

兼ね備えた地域のリーダーとなれるよう自らの修練を行ってまいります。そのことにより、青年会議所という我々の組織を深く理解し、縦横のつながりも含めたしっかりとした知識と、そして人のネットワークを学ぶ機会へと繋がります。各企業より付託と信頼を受けてお預かりした青年会議所の新入会員が広い視野と、お互いに対する信頼を身につけ多くの同志と、この地域を担う次世代の覇気ある J A Y C E E に成り得るために、更なる資質向上に磨きをかけられることが重要であります。

### 【魅力溢れる J C であり続けるために】

日本の未来が見えないというのであれば、次世代に責任を持つ我々青年が勇気をもって創っていきましょう。今こそ、我々青年が力を合わせ、時代を切り拓いていくときです。我々は今、祖国復興への熱き想いを胸に青年会議所運動を「英知と勇気と情熱」をもって時代の変革期を乗り越えて「明るく豊かな社会」を築くために、時代の挑戦者として覇気ある J A Y C E E の精神で今再び、力強く着実に行動しましょう。青年会議所とは、可能性の追求とその目標に進む勇気、そしてやればできるという感動を与えてくれる組織です。明るい豊かなまちを創るのも挑戦なら、小さな一歩を踏み出すのも挑戦であります。誰もが一歩を踏み出すのは不安と期待で一杯です。でも、不安だからと言ってただ傍観しているだけでは何も変わりません。少し勇気をだし、そして仲間と共に挑戦してみましょう。その小さな挑戦が、明るい豊かなまちを創る第一歩となります。そして、一人ではできない運動も、多くの仲間がいれば達成できる運動となります。誰かがやってくれるのではなく、自らが進んでやる社会となれば大きな市民変革運動のうねりとなってこの社会を変える事ができると確信しています。私たちが未来に何を残せるのか、そして私たちはいま何をしなければならぬのかをメンバーと共に考え、そして、歴史と伝統ある都城青年会議所のメンバーとしての誇りを持ち、多くの仲間と創始の精神を心に留め“1人の100歩より100人のしっかりとした1歩“で力を合わせ、これからのまちの発展に向けて勇気をもって挑戦し「明るい豊かなまち」という花が咲き溢れる未来のまちの創造に向け敢為邁往行動していきましょう。

### 【基本方針】

- 1、 未来の覇気ある人間力の育成
- 2、 夢と希望が満ち溢れる地域活性化運動
- 3、 真の広域交流拠点都市「都城」のまちづくり
- 4、 公益社団法人に則した組織運営の強化
- 5、 組織力の強化並びに発信
- 6、 会員拡大30名の必達

【以下、(案)】

- 公益
- 1、人材育成事業
  - 2、青少年育成事業
  - 3、地域活性化事業

- その他の事業
- 1、会員対象研修事業
  - 2、他団体の交流会事業
  - 3、組織運営強化、組織力強化
  - 4、国際交流事業